

■米国：ナショナルグリッド、天然ガスの DR 実証プログラムを計画

2017 年 11 月 21 日付の現地報道によると、国際的な電力・ガス事業者であるナショナルグリッド社は、デマンドレスポンス（DR）向けソフトウェア開発企業・オートグリッド社と提携し、ニューヨーク州において天然ガスの DR 実証プログラムを 12 月 1 日から 2018 年 2 月 28 日まで実施する計画を発表した。オートグリッド社のソフトウェアは、全米で多くの電力向け DR に利用されているが、天然ガスを対象としたものは今回が初めてとのこと。計画では、まず、ロングアイランドおよびニューヨーク市のナショナルグリッド社の顧客が使用する天然ガス使用機器（ガス炉、ボイラー、暖房装置等）にもう一つの提携企業である IP Keys 社製の負荷制御機器を取り付ける。そして、この制御機器にクラウドベースのオートグリッド社製ソフトウェア「AutoGrid Frex」から制御指示を送り、暖房機器利用のピーク時である朝 6～9 時（12～2 月）の間に暖房等のオンオフ切り替えを行うとのことである。プログラム参加者には金銭的インセンティブが与えられる予定であり、16 軒の商工業部門の顧客が申し込んだ。米国では近年のシェール革命により、安価な天然ガスが発電に使用される機会が増加した結果、天然ガス向けパイプラインの容量が不足傾向にあり、パイプラインの容量不足から発電所にガスの供給ができなくなる事態も発生していた。本プログラムにより、既存インフラの利用が最適化され、設備容量増強のコストおよび環境負荷の抑制が見込まれている。